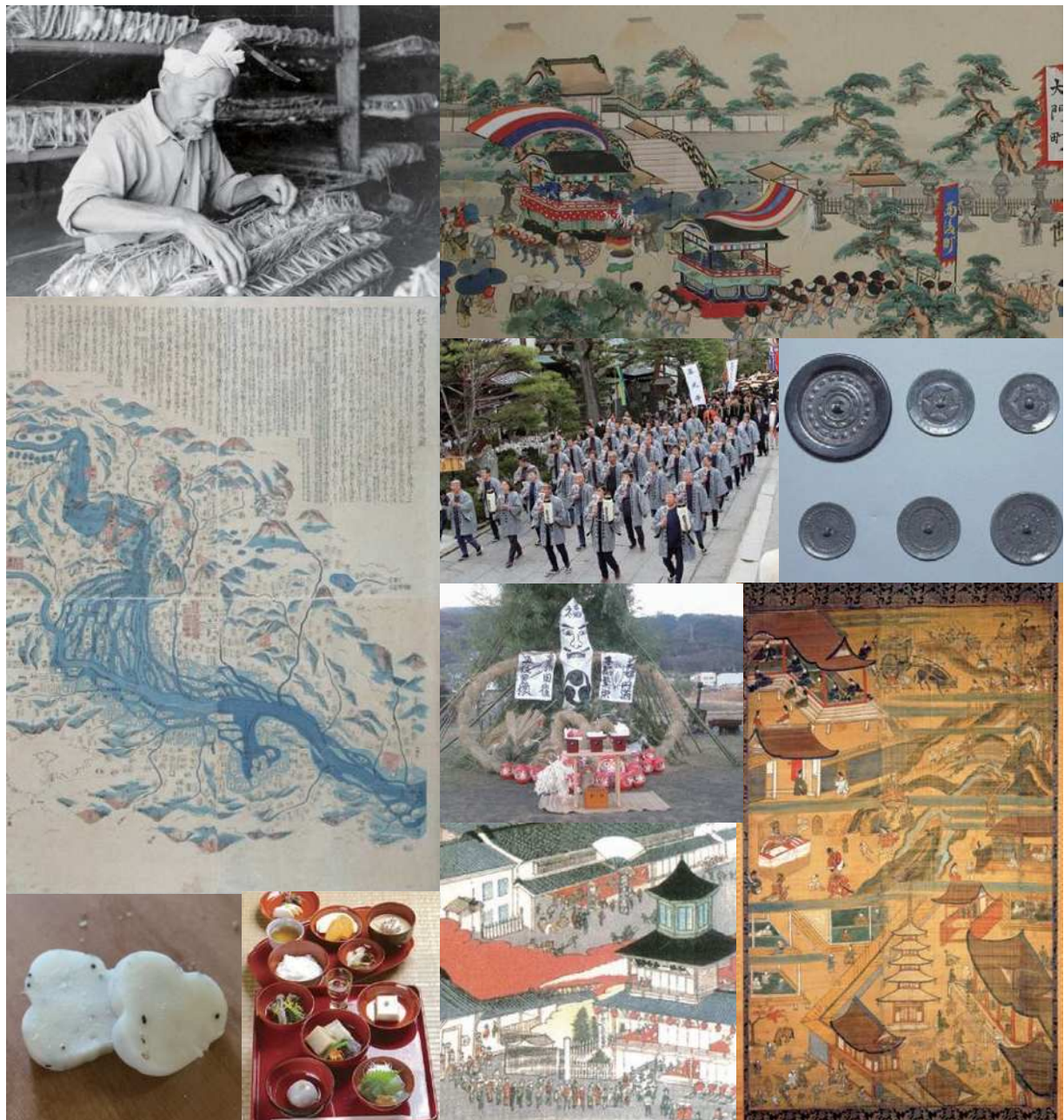


概要版

長野市文化財保存活用地域計画(案)



長野市文化財保存活用地域計画概要版

計画作成の目的

地域で育まれた多様な歴史や文化を総合的に把握し、市民や関係団体、行政等が地域総がかりで保存・活用していくことで、文化財の価値と魅力を多くの市民と共有し、大切に使いながら、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めると共に、歴史や文化の継承につなげていくことを目指し、本計画を作成します。

計画の位置づけ

文化財保護法第183条の3に基づき、市町村の区域における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画として作成し、文化財保護法第183条の3第4項に基づき、長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）との調和を保つものとします。

また、上位計画である「第五次長野市総合計画」の教育分野の政策および「第三次長野市教育振興基本計画」の基本施策の中に位置づけられ、文化芸術、生涯学習、まちづくり、景観、観光など、本市の諸計画と連携を図るものです。

計画期間

令和6(2024)年度から令和13(2031)年度（8年間）

目指す将来像

「長野らしさ」を伝える文化財を活かした歴史文化都市

5つの歴史文化の特性から構成される「長野らしさ」を伝える長野市の文化財は本市の多様な歴史と文化を表し、それを後世へ伝える大切なモノやコトです。

本計画では、この文化財の価値と魅力が多くの市民に共有され、大切に使われながら将来に継承されることで、長野市が市民にも来訪者にも魅力のある歴史文化都市となることを目指します。

長野市の歴史文化の特性

| | | | |
|----------|------------------|----------|-------------------|
| 歴史文化の特性1 | 大地の激動がもたらした恵みと災い | 歴史文化の特性4 | 政治経済の中心「長野」 |
| 歴史文化の特性2 | 人々が交わる地「長野」 | 歴史文化の特性5 | 「長野」に生きる人々の暮らしと文化 |
| 歴史文化の特性3 | 信仰が息づくまち「長野」 | | |

長野市の歴史文化の特性

① 大地の激動がもたらした恵みと災い

太古の昔、海だった長野市域は、その後の激しい地殻変動によって長野盆地と東西の山地からなる地域となりました。この地殻変動は市域に暮らす人々に湧水や温泉、石材といった恵みをもたらす一方で、地震や水害といった災害をもたらしてきました。



貉郷呂山の石切場

② 人々が交わる地「長野」

長野市は長野県と新潟県との境界に当たる位置にあり、古くから内陸の山間地と日本海側をつなぐ交通の要衝でした。善光寺には古代以来、多くの参詣者が訪れ、その門前は様々な人々が行き交いました。近世になると北国街道が整備され、北信地域の大動脈となりました。近年では平成10(1998)年にオリンピック・パラリンピック冬季競技大会が開催され、世界中から多くの人々が市域を訪れました。

古来より多くの人々を迎え入れてきた長野市は、交流を軸として生み出されてきた多彩な歴史文化を現在に伝えています。



善光寺宿駅繁花茶店の図『善光寺道名所図会』

③ 信仰が息づくまち「長野」

市域には、社会の様々な人々と結縁する開かれた霊場として、多くの人々の信仰を集めてきた善光寺を筆頭に、修験の聖地であり、水を司る神として全国に名が知られていた戸隠山や、近世に地域の修験者を統括していた皆神山など、多くの宗教的拠点が存在しています。また市域では近世、里修験や聖と呼ばれる宗教者たちが地域の人々の信仰を支えていました。



戸隠山から出されたお札

④ 政治経済の中心「長野」の誕生

市域には、古墳時代にヤマト政権との結びつきを示す文化財として前方後円墳が存在し、また善光寺の周辺には後町（後庁）という官庁跡を示す地名が残っており、古くから政治の拠点が置かれたことがわかります。近世になると大名真田家の城下町として松代が発展しました。明治時代に入ると長野村の内、善光寺町に県庁が置かれ、県都としてふさわしい様々な近代インフラが整備されていきました。中央通りには洋風の近代建築物の商家などが相次いで建てられ、現在につながる市街地としての景観が形成されます。現在私たちが暮らすまちの風景からは、県都長野市の誕生へと至るまちづくりの歴史文化を見ることができます。



旧長野県庁舎

⑤ 「長野」に生きる人々の暮らしと文化

市域では山地・盆地で多様な生活文化が生まれ、地域間の交流がなされてきました。山地・盆地の生産生業・商品流通を背景として郷土色豊かな食文化も発展し、おやきに代表される粉食は今も人々に親しまれています。多様な生活文化を背景にして、市域各地では多様な年中行事・祭礼・芸能が行われてきました。現在でも道祖神の祭、獅子舞、御柱祭などが盛んに行われ、神社や地域の祭事にあわせた花火の打ち上げも見ることができます。



篠ノ井越の人形道祖神

文化財保存活用の基本方針

基本方針1 文化財を掘り起こす(調査)

地域で守り伝えてられてきた多様な文化財を、市民と共に掘り起こし、価値づけをすることで、魅力ある長野の歴史文化の特徴を、広く共有していく。



仏教美術調査

基本方針2 掘り起こした文化財を保存する(保存)

経年劣化や災害等による文化財の滅失・損傷を防ぎ、確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う。



真田信之霊屋保存修理

基本方針3 歴史文化の魅力を伝え活用する(活用)

市内の多様な文化財の魅力を市民や来訪者(観光客等)の誰もが知ることができ、その本質的価値を理解し、日常的に活用していくことで、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。



松代城跡ライトアップ

基本方針4 文化財が継承される仕組みを作る(継承)

社会環境の変化による文化財の担い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、保存に必要な資金・資材の不足に対して、市民・行政・民間団体等が一体となって次世代に継承していく仕組みを構築する。



伝統芸能訪問公演

基本方針ごとの課題

基本方針1 課題

- ・把握調査の対象となる文化財が膨大なため地域の研究団体等と連携して調査を進める必要がある。
- ・指定等文化財や、すでに把握されている文化財について、その価値や実態に不明な点が多い。

基本方針2 課題

- ・文化財の維持管理が少子高齢化等により困難になってきている。
- ・文化財(建造物)の保存のためには、多額の費用がかかる修理修復が必要である。
- ・歴史的建造物等の文化財についての防災対策が指定文化財であっても不十分である。

基本方針3 課題

- ・市民にとって文化財を学ぶ機会が不足している。
- ・市の歴史文化の魅力をわかりやすく伝えるための情報発信を強化・工夫する必要がある。
- ・各地域で地域の歴史文化の特性を活かしたまちづくりの将来像を、関係者間で検討し再構築する必要がある。

基本方針4 課題

- ・所有者だけでなく地域で文化財を担っていくという意識の醸成を図る必要がある。
- ・文化財の保存に必要な資金・資材の不足に対し、行政の補助に加えそれ以外の資金や資材調達の検討が必要である。

具体的方針

| | |
|-------|--|
| 基本方針1 | 方針1-1 文化財を総合的に把握する 「長野らしさ」を明らかにするため、文化財の総合的な調査を推進する。 |
| | 方針1-2 文化財を研究し価値づける 調査によって掘り起こした文化財を、長野市の歴史文化の特徴に照らして価値づける。 |
| 基本方針2 | 方針2-1 文化財を適切に維持管理する 文化財の日常的な維持管理を適切に行うとともに、その保存状況を定期的にモニタリングし、文化財の価値の滅失を未然に防ぐ。 |
| | 方針2-2 文化財を適切に修理する 文化財の経年劣化に対して適切な修理を行い、文化財の価値の減滅を防ぐ。やむを得ず滅失してしまう文化財や、滅失の危険性がある無形（民俗）文化財については記録作成を行い保存する。 |
| | 方針2-3 災害や盗難等に備える 災害や盗難等に備え、防災・防犯設備の整備や訓練の実施、防災マニュアルの整備を行う。 |
| 基本方針3 | 方針3-1 文化財を学ぶ機会を充実させる 文化財について市民が学び、携わることができる機会を提供する。 |
| | 方針3-2 文化財についての情報発信の充実 博物館等での展示公開、発掘調査現場での見学会、インターネットを活用したオンライン公開などさまざまな方法で文化財についての情報を発信する。 |
| | 方針3-3 持続可能な文化観光を推進する 観光事業者と連携し、関連文化財群を基本として地域の歴史や文化を活かした持続性のある文化観光を推進する。 |
| | 方針3-4 文化財を活かした歴史まちづくりを推進する 文化財を活かして地域の魅力を高めるための歴史まちづくりを推進する。 |
| | 方針3-5 文化施設の持続可能な活用マネジメント 歴史文化を伝える場として、文化施設のより一層の活用を図る。 |
| 基本方針4 | 方針4-1 文化財の担い手育成 歴史文化を次世代に引き継ぐため、地域一体となって後継者の育成を図る。地域における伝統芸能の伝承事業への支援を行う。 |
| | 方針4-2 文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みを作る 文化財を継承していくために必要な資金や資材を調達するための仕組みを構築する。 |
| | 方針4-3 文化財の継承に必要な専門人材との連携を強化する 文化財の継承に必要な専門的スキルをもつ団体等との連携を強化する。 ⁵ |

72の措置

| | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| 1 市内仏教美術調査 | 37 地域と教員の連携支援 |
| 2 近世社寺の調査 | 38 博物館等文化施設のボランティア、友の会活動 |
| 3 埋蔵文化財分布調査 | 39 文化財保護行政に寄与する団体に対する支援 |
| 4 戸隠竹細工調査 | 40 文化財総合ポータルサイトコンテンツ整備事業 |
| 5 文化財総合データベースの充実 | 41 地域計画の周知、計画の進捗状況の発信 |
| 6 来訪者アンケート | 42 説明板等の設置、改修 |
| 7 文化活動団体把握アンケート | 43 博物館等での文化財調査結果の展示 |
| 8 文化財所有者意識調査 | 44 多言語解説拡充整備 |
| 9 博物館、宝物館等での展示研究事業 | 45 展示図録等の刊行 |
| 10 関連資料の収集、整理、目録化事業 | 46 地域の文化活動団体刊行物把握 |
| 11 ながの祇園祭祭礼調査 | 47 文化財ガイド人材の育成及び、プロガイド養成の検討 |
| 12 文化財所有者管理者研修会 | 48 文化財を活用した体験型観光コンテンツの開発支援 |
| 13 文化財パトロール | 49 市内文化財周遊促進のための観光ルートやガイドマップ作成支援 |
| 14 保存活用計画作成 | 50 鬼無里観光協会と連携した鬼無里地区の周遊促進 |
| 15 真田宝物館施設整備 | 51 歴史文化や景観、伝統工芸の保存に寄与する活動の観光コンテンツ化 |
| 16 博物館再編に向けての検討 | 52 民間の文化財活用活動支援 |
| 17 各団体をまとめる窓口設置の検討 | 53 地域団体等と連携した文化財を軸としたまちづくり |
| 18 郷土史研究者等との連携 | 54 文化財を核にしたまちづくりの推進 |
| 19 国史跡大室古墳群の保存整備事業 | 55 伝統環境保存事業 |
| 20 国史跡松代城跡の保存整備事業 | 56 景観重要建造物修理助成事業 |
| 21 指定等文化財修理補助事業 | 57 歴史的風致形成建造物修理助成事業 |
| 22 国登録文化財への支援の検討 | 58 無電柱化、道路美装化による歴史的景観整備 |
| 23 文化財の記録保存調査 | 59 真田宝物館建て替えの検討 |
| 24 無形文化財、無形の民俗文化財の映像記録化及び公開 | 60 戸隠地質化石博物館とそば博物館との連携 |
| 25 埋蔵文化財緊急発掘調査 | 61 博物館再編事業 |
| 26 地域の文化財防災マニュアル作成 | 62 団体の活動や用具の修理等に関する補助の支援 |
| 27 文化財防災訓練の実施 | 63 伝統芸能発表の機会の提供 |
| 28 善光寺の防災設備整備 | 64 伝統工芸継承支援 |
| 29 旧横田家住宅の防災施設整備 | 65 文化財の担い手についての把握調査 |
| 30 戸隠伝統的建造物群保存地区の防災対策 | 66 文化財の担い手となる市民、団体の育成 |
| 31 被災文化財保全活動の支援 | 67 文化財に携わる職人の活動支援の検討 |
| 32 災害時文化財レスキュー体制の構築 | 68 ふるさと納税等寄付金による資金調達 |
| 33 学芸員出前講座 | 69 文化財修理に関わる技術者の把握と連携 |
| 34 出張展示 | 70 文化財修理に必要な原材料の確保支援 |
| 35 小中学校教育との連携推進事業 | 71 文化財の保存活用に関わる団体との連携強化 |
| 36 教員と連携した文化財に関する教材開発 | 72 歴史的建築物の活用ノウハウを有した企業との連携 |

関連文化財群

長野市の5つの歴史文化の特性から9つの関連文化財群を設定しました。指定・未指定にとらわれず、共通の背景や文脈を持つ関連の文化財を一群のものとして捉え、保存・活用の取組を行うことで、長野市の歴史文化に対する理解促進や地域ごとの魅力向上が期待できます。

1 大地の記憶～海だった長野

現在の長野市の地形を作った激しい地殻変動の痕跡、それらがもたらす資源からなる文化財群

【主な構成文化財】
ダイカイギュウ化石、
油井、裾花凝灰岩、
枕状溶岩など



2 「信濃国のはじまり」のはじまり

善光寺平一帯に残る弥生時代～古墳時代の遺跡、考古資料からなる文化財群

【主な構成文化財】
篠ノ井遺跡群出土品
川柳将軍塚古墳・
姫塚古墳など



3 川中島の戦いと伝承

川中島合戦に関わる遺跡や後世に生み出され現在まで伝わる伝承からなる文化財群

【主な構成文化財】
武田晴信願状、勘助
宮、加賀井温泉、
葛山城跡鞍骨城跡
など



4 松代城下町に伝わる武家文化

江戸時代、松代藩の城下町として栄えた松代町に伝わる建造物、遺跡、風俗習慣からなる文化財群

【主な構成文化財】
松代城跡、真田家文書
庭園群、佐久間象山宅跡
松代焼、松代雅楽など



5 善光寺・門前町に息づく歴史文化と祭礼

善光寺門前町の歴史と賑わいを伝える建造物や祭礼行事からなる文化財群

【主な構成文化財】
善光寺本堂、堂童子行事、
門前町の歴史的建造物、
壘刺しなど



6 自然と信仰が紡ぐ戸隠の歴史文化

山岳信仰とともにつくられてきた戸隠の歴史文化を伝える建造物、祭礼、食文化からなる文化財群

【主な構成文化財】
戸隠神社信仰遺跡、宣澄踊り、
奈良尾弘法遺跡、式年大祭、
奥社社叢、蕎麦、竹細工など



7 里山の恵みを活かした暮らしと粉食

里山の暮らしおよび食文化を伝える生産道具や祭礼行事からなる文化財群

【主な構成文化財】
麻・畳糸作り道具、粉食、紙店資料、鬼無里の屋台、神楽など



西山地域のオヤキ

8 川と共に生きる－千曲川水系と暮らし－

千曲川水系がもたらす恵みと脅威を受けてきた人びとの暮らしを伝える物や伝承からなる文化財群

【主な構成文化財】
千曲川流域の漁具、大豆島区有文書、果樹栽培関係資料、千曲川流域の治水土木遺産など



長野盆地を流れる千曲川

9 長野市に伝わる多様な祭礼・行事

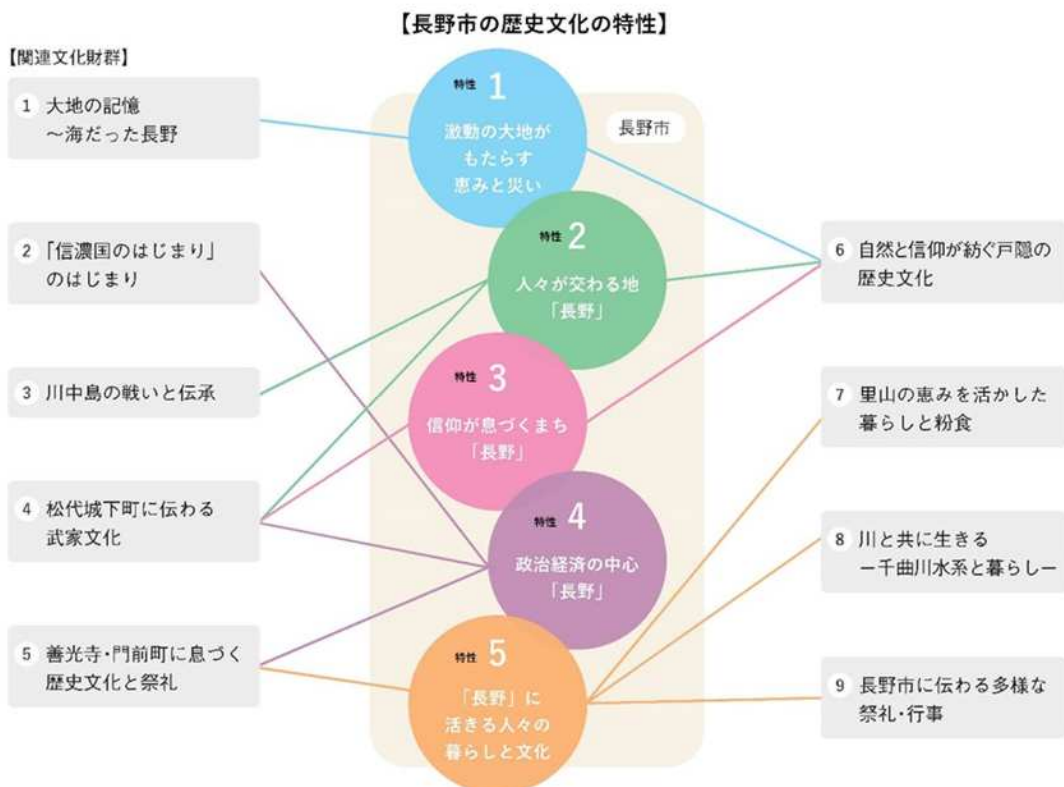
市内各地でみられる獅子舞や道祖神行事など長野市を特徴づける民俗文化財群

【主な構成文化財】
芦ノ尻の道祖神祭り、人形道祖神、小正月関係コレクション、えびす講花火、獅子神楽など



セーノカミの勧進

【歴史文化の特性と関連文化財群の相関図】



文化財の保存・活用の推進体制と評価

推進体制

本計画に基づく文化財の保存活用の取組は庁内体制の整備、関係行政機関との連携、地域計画協議会、民間団体等との連携の下に推進します。また関係機関や民間団体等は計画の取組状況に応じて適宜追加等を行い、連携強化を図っていきます。

| | |
|------------|--|
| 長野市 | ・教育委員会事務局文化財課 【役 割】 計画に関する主務、文化財の保存・管理・活用 |
| | ・教育委員会博物館 【役 割】 文化財の調査・研究・収蔵・公開・普及啓発 |
| | ・文化スポーツ振興部文化芸術課 【役 割】 伝統芸能の継承支援 |
| | ・商工観光部観光振興課 【役 割】 文化財を活用した観光振興 |
| | ・都市政策部まちづくり課 【役 割】 歴史的風致維持向上計画との連携・調整 |
| | ・地域計画ワーキンググループ 【役 割】 各事業の進捗管理、内部評価 【構 成】 文化財課・博物館・観光振興課・文化芸術課・まちづくり課 |
| | 【構 成】 文化財所有者・学識経験者・商工関係団体・文化財に関わる団体等 |
| 協議会 | ・長野市文化財保存活用地域計画協議会 【役 割】 地域計画の進捗管理・評価、計画の見直しの検討等 【構 成】 文化財所有者・学識経験者・商工関係団体・文化財に関わる団体等 |
| 地方文化財保護審議会 | ・長野市地方文化財審議会 【役 割】 文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議 【構 成】 文化財に関し豊かな知識・経験のある学識経験者 |
| 関係行政機関 | ・国立文化財機構文化財防災センター 【連携部分】 災害時の文化財の文化財のレスキュー、地域防災体制の構築 ・長野県教育委員会文化財・生涯学習課 【連携部分】 長野県文化財保存活用大綱との調整 |
| その他民間団体等 | ・長野市文化財保護協会 【連携部分】 文化財パトロールによる現状把握 |
| | ・公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー 【連携部分】 文化財を活用した観光コンテンツの開発・情報発信 |
| | ・公益社団法人長野県建築士会 【連携部分】 文化財（建造物）の調査、災害時の文化財（建造物）のレスキュー、記録保存 |
| | ・長野県文化財レスキューネット 【連携部分】 災害時の被災資料（文化財）のレスキュー及び保全 |
| | ・長野郷土史研究会ほか市内各地の郷土史研究団体 【連携部分】 文化財の把握調査・現状把握 |